



地方発のAX成長戦略に係る 知事有志との意見交換会

令和8年5月15日
長野県



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

長野県産業におけるA I の社会実装の事例 ～A X時代に向けた萌芽～

- **人手不足に加え、中山間地など地域特有の課題を起点**として、公共交通、製造業、農林業、医療・介護などの分野で**AIの社会実装が始まっているが、道半ばの状況**にある
- AIの積極活用を促した上で、今後、**実装・研究・人材育成が地域内で展開するAXモデルの構築**を目指す

【公共交通】AI活用オンデマンドバス「のるーと塩尻」の運行

(塩尻市)

- ✓ アプリ予約とAIにより、乗り合い・道路状況を踏まえた最適ルートを生成
- ✓ 路線・時刻表に依存しない運行で、高齢者や交通弱者の移動を確保

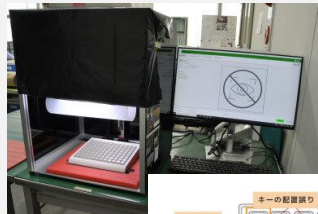


目指す効果等 運行効率化と人手不足対策を同時に実現し、地域交通の持続性を向上

【中小企業】AI外観検査による製造現場のAX実装

(株)電算×長野テクトロン(株)

- ✓ 製造現場の目視検査工程に、県内IT企業が開発したAI外観検査システムを導入した事例
- ✓ 良品・不良品画像を学習したAIを現場に実装し、ノーコードで運用可能



目指す効果等 製造業の検査工程を高度化し、横展開可能なAXモデルとして地域産業全体の生産性向上に寄与

【研究開発】中山間地に適応可能な果樹用収穫ロボットの開発

(株イーエムアイ・ラボ×公立諏訪東京理科大×AI活用/IoTデバイス事業化・開発センター)

- ✓ 中山間地域の多い長野県の特徴を踏まえ、社会実装を見据えた果樹収穫の自動化研究事例
- ✓ 傾斜地対応の機構・制御と画像認識・AIによる果実の識別



目指す効果等 農業の人手不足・高齢化への対応と、地域農業の持続性向上に貢献

◆AI活用/IoTデバイス事業化・開発センター(通称:DXラボ)

※H29地方創生拠点整備交付金活用

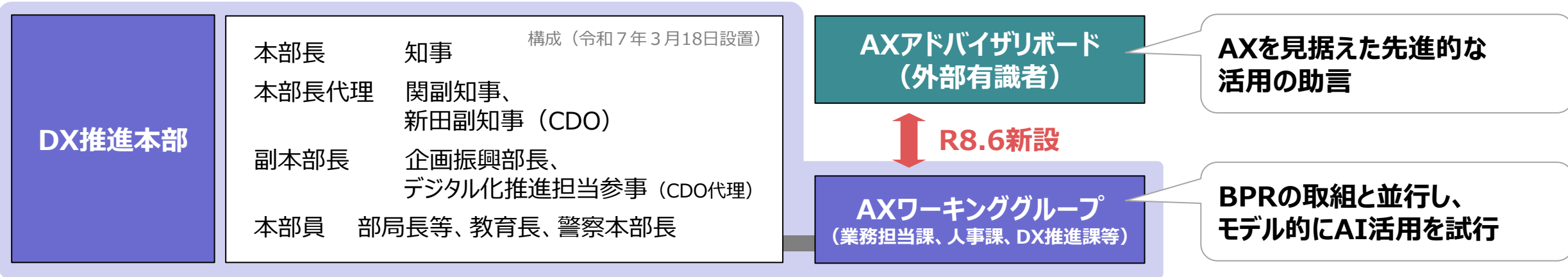
長野県工業技術総合センター内に設置(R1)。AI・IoTの現場導入にとどめず、試作・実証から事業化まで一貫支援。専門人材の伴走により、中小企業のAX実装と新事業創出を後押ししている



- 「**隗より始めよ**」の精神で、庁内推進体制を整備。**外部有識者の知見も活用**しながら、**AXを見据えた**行政業務における「**AIの徹底活用**」を推進
- 全庁を挙げて**行政、産業・社会でのAI活用を推進**

庁内推進体制

➔AXアドバイザリーボード、DX推進本部AXワーキンググループを新設



令和8年度の主な取組

- 行政データを活用した生成AIシステム（※）を導入 ※検索拡張生成（RAG）機能を有する対話型生成AI
障がい福祉関係手当業務、財務会計、議会対応など、マニュアルや過去事例などの膨大なデータを
人手で参照する作業を生成AIが代替し、業務を効率化
- 全庁的なBPR（業務プロセス改革）の取組と並行し、AIの活用業務を拡大

AX社会への転換に向け、国に期待する役割

基本認識

AX社会を前提に、社会システム・経済構造・行政運営の再設計が不可欠

国への要望事項

① 産業・自治体のAXを全国で進めるため、標準モデルや指針を示していただきたい

- 中小企業、自治体が個別に試行錯誤することは非効率。まず国が「**基本的な実装の型**」を示すことで、地方はすぐ動ける
- 県は、モデルづくりへの協力や、地域特性に合わせた展開を図り、**実装を推進する役割**を担いたい

② AX社会において必要な人材像や、その育成に向けた枠組み・ルールを示していただきたい

- 高度なAI専門人材の育成に加え、**現場での活用をリードする人材の育成・定着**のあり方の整理が必要
- 「**N-E.X.T.ハイスクール構想**」は、地域社会・経済を支える人材育成に資する先進的取組として評価
- 国が示す考え方や枠組みを前提に、県は、**AX人材の育成プロセス**や**現場での活躍の姿**の実例づくりを担いたい